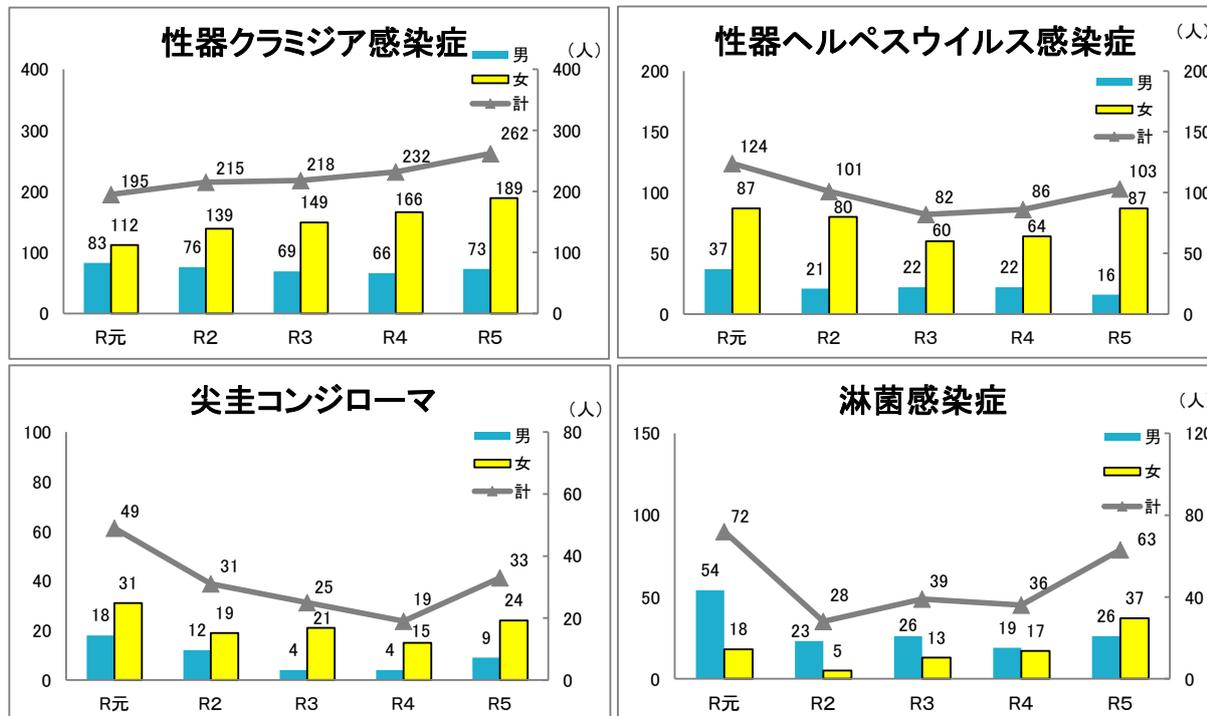


## 旭川市の性感染症の動向

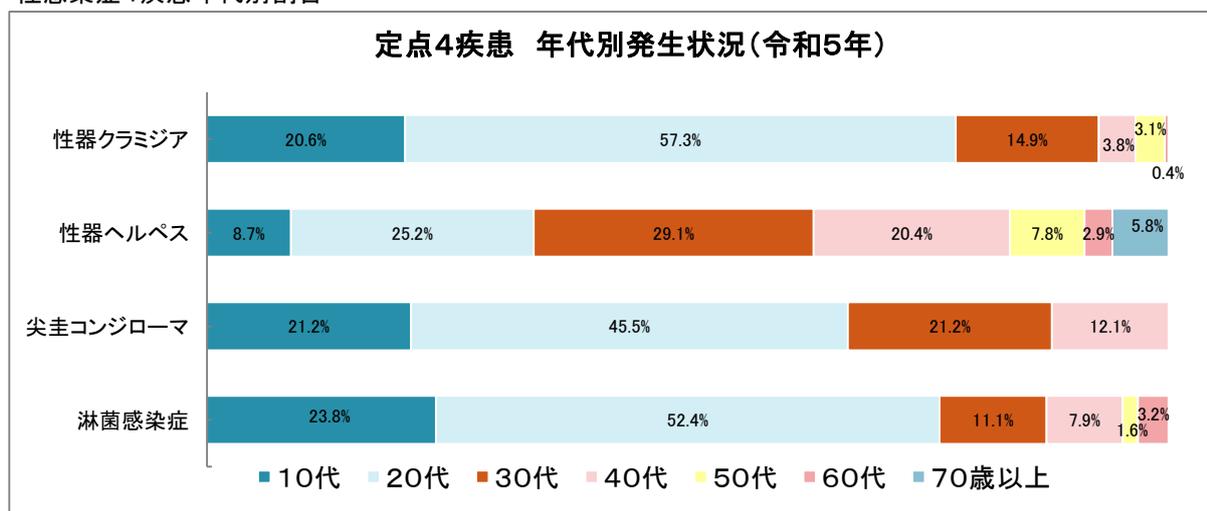
「感染症法」では、指定届出機関（定点医療機関）は、患者発生状況を届け出ることになっています。保健所では、4つの性感染症（性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症）について、定点医療機関からの報告に基づいて集計しています。感染症の集計は、各年1月1日から12月31日までを一区切りとして行われます。

### 1 性感染症4疾患定点医療機関報告数



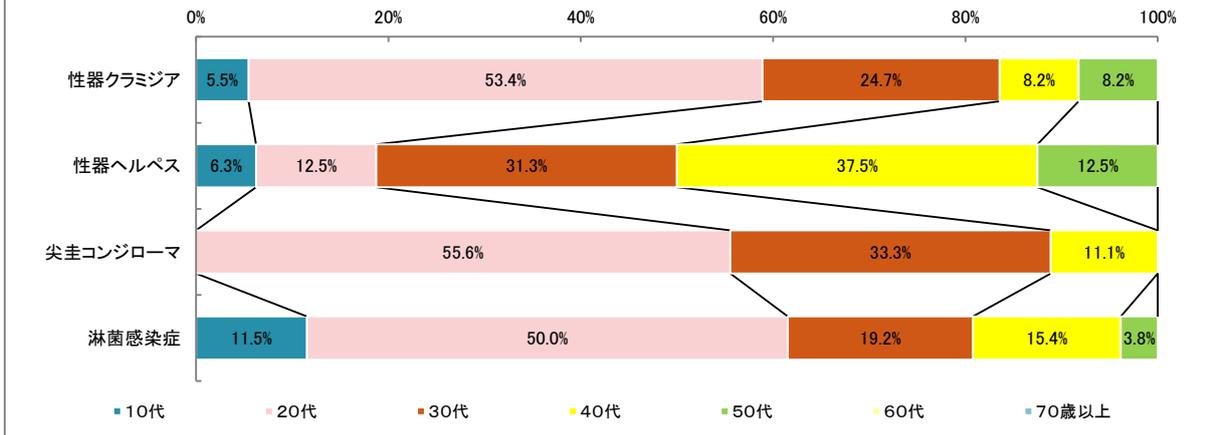
性器クラミジア感染症は、定点医療機関から毎月報告される性感染症の中で、最も報告数の多い疾患です。淋菌感染症は、男性に多く、性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマは、女性に多いのが特徴です。

### 2 性感染症4疾患年代別割合

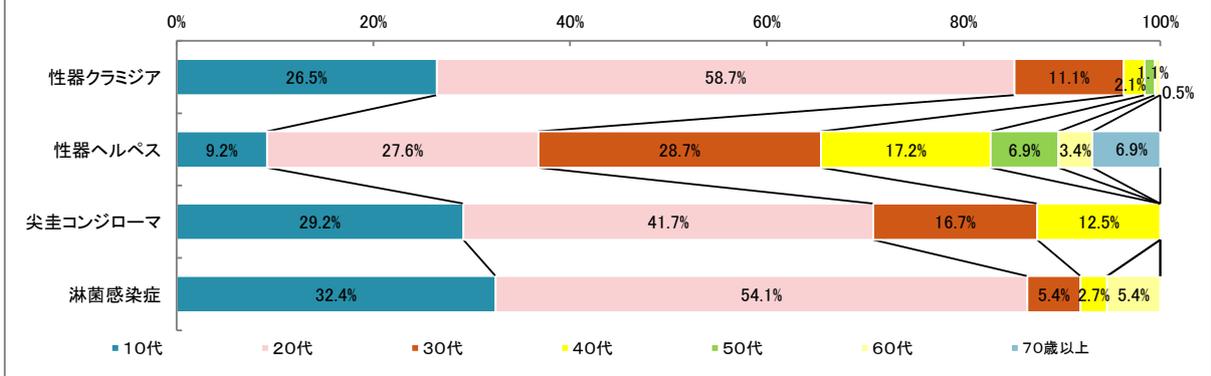


性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症については20代、性器ヘルペスウイルス感染症については30代が最も多く発生しています。

定点4疾患 年代別割合(令和5年男性)



定点4疾患 年代別割合(令和5年女性)



男女別に見ると、女性では10～20代の割合が男性より高く、若年化の傾向が見られます。